

平成 19 年 3 月 定例会 議事録

- ・日 時 : 平成 19 年 3 月 1 日(木)、19:05 ~ 21:00
- ・場 所 : 石川県 NPO 活動支援センター「あいむ」
- ・出席者 : 五十嵐、稲葉、浦、黍野、木村、今度、所村、藤田、干場、村中、山崎、山内、吉田 (計 10 名)
- ・お出席 : 奥村、森川(国交省)、浅野(市交通政策課)
- ・進行 : 黍野 ・記録 : 村中

議題

- 1、各調査活動の集計結果等の中間報告
- 2、フォーラム等の参加報告
- 3、その他、オブザーバーからの連絡事項等

内容

議題 1、各調査活動の集計結果等の中間報告

「山側環状全線開通後の市民意識調査」について

アンケートの回収は夏と今回とで計 391 件に達した。今年には雪がほとんど無く、積雪時の回答が得られなかったのは残念。全線開通後、外出の機会が増えたという人が増加、山側環状の利便性の認識が高まり、利活用が浸透してきたようである。しかし、卯辰トンネルの出口付近・杜の里・大桑インター付近の渋滞や、市内(兼六園)へ向かう観光バスのルートの変化等の新しい課題も見えてきている。(稲葉・山崎)

「横断歩道の安全性チェック」について

調査を通じて感じたこと...

- ・青色の点滅が約 3 秒では短すぎる。年配者や障害者は走れないので、長い横断歩道を渡り初めてすぐに信号が変わった場合非常に危険。
- ・街路樹が成長しすぎて狭い歩道を塞ぎ、自転車の歩行を困難にしている所がある。
- ・地下道の階段にスロープを併設できないか？ 三輪車や乳母車が通れない。

全体を通して、道路が車だけのために出来ているように感じた。もっと人間や自転車に対して優しくできないものか？(今度)

「高齢者社会へ向けての交通手段調査」について

アンケートの回収は全体で 177 名(ゾーン別内訳: まちなか 39、内・中環状 39、外環状 50、郊外 49)。

調査を通じて感じたこと...

- ・公共交通が不便なのは郊外部ほどひどく、公共交通が全く無い地域も多い。不便より存在すらない。

- ・運転が安心して出来る年齢は75～80歳までとの回答者が多かった。しかし公共機関の無い地域では運転せざるを得ない現状がある。
- ・自転車をバスや電車に積めるように...は賛否の意見が分かれた。
- ・郊外では主要な道路でも全く歩道が無く、大型車の風圧に耐えながら歩いている現状があり、事故も多発している。
- ・交通マナーの悪さについては、車・自転車・歩行者(含む高齢者)全てに指摘があった。
- ・大気汚染や地球温暖化に対する意識は予想外に高く驚く。(藤田)

議題2、フォーラム等の参加報告

- ・2/10(土) 市電廃止40周年の集い(金沢スカイホテル) :木村・吉田
- ・2/11(日) K.CATフォーラム(金沢市文化ホール) :五十嵐・山崎、他
- ・2/17(土) 金沢LRTとくらしを考える会(金沢駅もてなしドーム・地下広場) :今度・吉田、他
- ・2/17(土) 趣都金澤ミニフォーラム(ITビジネスプラザ武蔵) :黍野・吉田

議題3、その他、オブザーバーからの連絡事項等

- ・公共交通利用促進条例のパブリックコメントには多くの市民・市民会議メンバーから貴重な意見が寄せられ感謝したい。結果は現在集約中で、数日後にホームページで公開予定。
- ・新年度に組織改正あり。交通政策部を新設、交通政策課と歩ける環境推進課を設置。(市交通政策課・浅野氏)
- ・K.CATフォーラムには計148名(内、市民会議6名)の参加があり感謝する。
- ・来年度はK.CATと交通市民会議を連携させたシンポジウムが開催できないか検討したい。(国土交通省・森川氏)

今後の会合予定

- ・お出かけキャラバン ... 3月10日(土)、16:00～18:00
場所: 北陸会館・5階ホール(兼六園下交差点角・金信兼六支店隣、P無し)
- ・定例会 ... 4月5日(木)、5月10日(木)、6月7日(木)
場所: NPO活動支援センター「あいむ」、19:00～
- ・平成18年度活動報告会・総会 ... 6月23日(土)、14:00～(予定)
場所: NPO活動支援センター「あいむ」

以上